



藤倉英幸《初夏の稲田》はり絵 2019年

藤倉英幸《雪の赤レンガ》2001年

藤倉英幸コレクション展

# あの日の旅

カレンダー原画より

# あの日風景

2020.7.18[土] - 11.29[日]

開館時間 / 9:00~17:00(最終入場16:30) 月曜休館(ただし休日の場合は翌日休)

本展では約1万点に及ぶ「藤倉英幸コレクション」の中から、  
カレンダーの原画に用いられた作品を、  
会期中に入れ替えながら約30点紹介します。

常設展観覧料のみで鑑賞できます。

一般500円 高校生100円

中学生以下と65歳以上のニセコ町民は無料

会場 / ニセコ町・有島記念館小ギャラリー

〔予告〕冬の藤倉英幸展：2020年11月28日(土) - 2021年4月11日(日)

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM  
ニセコ町・有島記念館

北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地 Tel 0136-44-3245



藤倉英幸《ひまわり》1998年



## 北海道の 風景を 旅する。

長いあいだ旅をしてきた。

日帰りや、せいぜい3泊ほどの小さな旅だか…。

そこで出会った風景を絵にしてきた。

風景は観光地にだけあるのではなかった。

何気ない風景も、かけがえのない

“私の中の北海道”なのだった。 藤倉英幸



# あの日の旅 あの日の風景

それぞれの風景の風の中を、小さな旅をして  
その日みつけた、ささいな想いが  
しばらくたって、忘れたところに、<sup>おもいで</sup>追憶めいた風景になる。  
それは、風が吹きわたってくる <sup>いろ</sup>丘の彩。  
夕陽が染めあげた <sup>いろ</sup>空の彩。  
冬の日の雪面に長くのびた <sup>いろ</sup>影の彩…

藤倉英幸

藤倉英幸《ライラック咲く頃》  
1999年



藤倉英幸《雪の夜明け》2001年



藤倉英幸《コブシ咲く頃》1994年



藤倉英幸《秋色になって》2003年



藤倉英幸

1948年、北海道後志管内島野村（現・岩内町）生まれ。74年にイラストレーターとして独立し、ポスター、パッケージ、装丁など商業デザインを幅広く手がける。80年代に入ると、北海道の風景や人々の生活に目を向けた「切り絵」作品を発表。80年代後半からは本格的に「はり絵」による風景画を描きはじめ、自身のライフワークとする。その作品は、JR北海道車内誌「THE JR Hokkaido」表紙画や六花亭「雪やこんこ」パッケージなどで広く親しまれている。『静かな風を聴きながら』（2013年、共同文化社）など画集多数。17年には絵原画やポスターなどの印刷物約1万点を有島記念館に寄贈。夏と冬に定期展覧会を開催。

**【交通アクセス】**

自家用車 — 札幌、新千歳空港より自家用車で約2時間  
J R — ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分  
バ ス — 道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車徒歩5分

**【駐車場】**

自家用車用約30台・大型バス用約15台完備

**ニセコ町・有島記念館**

NISEKO, ARISHIMA TAKEO MEMORIAL MUSEUM  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町宇有島57番地 Tel 0136-44-3245

